



め た せ こ い あ

校 至 創 努
訓 誠 造 力

島根県立吉賀高校 〒699-5522 鹿足郡吉賀町七日市 937

電話 (0856) 78-0029 FAX (0856) 78-0742

HP アドレス <http://www.yoshika.ed.jp/>

H30・31年度 人権・同和教育研究指定校として取り組みます

校長 渡部敏郎

【吉賀高校 人権・同和教育研究指定校 研究主題】

ハンセン病問題などの社会に見られる人権問題を通して

多様な個性や特性の違いを認め合い

自ら学び自他ともに高め合う態度を養うことで

誰もが暮らしやすい新しい地域社会を積極的に創造しようとする力を育む

吉賀高校は、H30年度から2年間、島根県人権・同和教育研究指定校、人権・同和教育「PTA活動」育成事業実施校に指定されました。学校として、今まで行ってきた人権・同和教育をさらに深め、同時にPTA活動としても、保護者の皆様とともにこの教育活動を進めていく絶好の機会をいただきました。吉賀町とも一体となって、ハンセン病問題に関する差別を中心に学び、講演会や各種研修活動を行っています。

人 権 ・ 同 和 教 育 講 演 会

去る5月21日（月）、林東植さん（イム・トンシクさん、ハンセン病患者・広島市在中）をお招きして、本校体育館にて人権・同和教育講演会『知らないことは怖いこと』を開催しました。今回は、PTAの皆さまや近隣の中学校からも数名ご参加頂きました。

林さんは、差別や偏見が生まれる理由として、「人間は思い込みが大きい生き物。『無知』とは真実を何も知らずとしない態度です。この態度が偏見につながっていきます」と述べられました。また、長島愛生園の施設に入所していた際、ハーモニカを必死に努力して練習し、「人間として生まれてきた喜び」を感じたエピソードを紹介されました。「人間には越えなければならない『壁』がある。人間は努力して、目の前の壁を乗り越えていくことに生きる喜びがある」として、林さんがどのような姿勢で困難や試練を乗り越えて来られたかを語られました。その言葉のすべてに生徒へのメッセージが詰まっており、最後には、「人のためになることをすること、良い本を読むこと」と、メッセージを送られました。林さんの半生から生まれてきた言葉に、生徒たちも熱心に耳を傾けていました。

生徒からの感想には、「林さんのお話では人間の在り方の話が多かったと思う。人のために生きる、強い者は弱い者を想う、など、少しでも正しい人間の生き方をしていけるよう努力していきたい」といったものがありました。（勝部）



フットサル 島根県大会 4連覇達成！

第5回全日本ユースフットサル選手権大会島根県予選

6月3日（日）温泉津町体育館で開催された島根県予選に参加しました。今年度は本校と浜田商業高校の2校のみの参加でした。浜田商業高校との代表決定戦は、3年生を中心に安定した試合運びをみせ、10-1で勝ち4連覇を達成し、中国地域予選へ駒を進めることができました。7月1日（日）出雲市のカミアリーナで開催される中国地域予選でも吉高らしく戦ってきます。（高橋）

文 化 部 の 活 動

写真部 春季写真コンクールの報告 能美健生

6月13日に邇摩高校で高文連春季写真コンクールの講評会がありました。「一人一作品以上の入選」という目標は叶いませんでしたが、特選9点、入選22点という結果でした。特選の9作品は、県大会に出品されます。講評会では一人一人の作品にアドバイスをいただいたので、秋季コンクールでは一人一作品以上の入選を取りたいと思います。

地 域 ク ラ ブ の 活 動

吉賀高校地域クラブより、6/3朝倉地区民運動会の手伝いに3名、6/10七日市地区民運動会の手伝いに4名、6月9～10日地域系部活動交流会（江津）に7名の生徒が参加しました。

第3回地域系部活動交流会 活動報告 谷元美月

【内容】1班3から4人の班に分かれ、学園祭、産業祭、交流会の3つのテーマをもとに企画を考えました。1泊2日という時間をかけ、企画の目的やそこから生まれる人のつながりなどについて深く考えることができました。また、グループワークや宿泊を通して新たな友達もでき、人脈を広めることもできました。



【感想】異なる高校から来た、異なる考えを持つ人達と考えを深め合うことができ、新たな発見も多くありました。それらを今後の吉賀高校での活動に活かしていきたいと思います。また、他校に友達が多くでき、本当に楽しかったです。今回できた友人達と、また新しいことや、さらなる楽しく地域に貢献できるような活動ができたらと思います。

朝倉地区民運動会手伝い 活動報告 黒田健

【内容】種目で使う道具の出し入れ等。数々の種目にも参加しました。【感想】3年間運動会のボランティアに参加してきましたが、年々盛り上がりや地域の方々のやる気が増していて、よりよい運動会になっていてとても楽しかったです。またこのような機会があれば是非参加したいと思います。



島 根 総 合 体 育 大 会 結 果

陸上部 主将：松田昂己

私たちは5月25日から27日まで松江市営陸上競技場で行われた県総体に出場しました。結果は、多くの選手が自身の記録を更新し、1人が準決勝進出を果たしました。（詳細は以下を参照）試合には多くの保護者の方が応援に来て下さり、自身の今持っている力を出せたと思います。そして、良い雰囲気です試合に臨むことができました。これまで私たちを支えて下さった方々、応援ありがとうございました。

【顧問コメント】自己ベスト記録を更新した選手は、○主将・松田昂己（3年）：【100m】11.85秒、【200m】24.08秒／○副主将・村上普善（3年）：【走幅跳】5.92m（追風参考）、【100m】12.07秒／○増野歩実（3年）：【100m】14.20秒／○松田基史（2年）：【100m】12.30秒、【200m】25.28秒／○遠藤愛己（1年）：【800m】2分11.59秒、【1500m】4分37.60秒、以上5名でした。その他、準決勝進出者は、○橋本菜々（1年）：【800m】2分30.26秒、1名でした。（以上、いずれも公認記録、風速省略）普段からの練習量と質が顕著に成果に表れた、ある意味でシビアな大会となりました。また、3年生の文武両立を果たしながら、自分の課題を克服しようとひたむきに陸上と向き合ってきた姿はとても感動的でした。これからは4人という少ない人数ですが、夏の国体予選や秋の新人戦に向けて、主体性をもって自身の記録を伸ばして行ってほしいと思います。これまで練習を支えて頂いた保護者や地域の皆さん、グラウンドを提供して頂いた六日市中学校の先生方には心からお礼申し上げます。（勝部）

ソフトテニス部 主将：山元 花梨

個人戦では女子3ペアが2回戦敗退、女子男子各1ペアが1回戦敗退、団体戦では安来高校と対戦し0-3で敗れました。1、2年生で構成されているソフトテニス部ですが、部員12人で最後まであきらめずに戦う姿勢を貫いた大会だったと思います。総体後も引退をする3年生がいないのでメンバーは変わりませんが、さらなる向上心を持って練習していこうと思います。そして、これからも指導して下さる先生方や応援して下さる地域の方々、支えて下さる家族への感謝の気持ちも忘れずに頑張っていきたいです。応援ありがとうございました。

【顧問コメント】昨年までソフトテニス部は部員が3名であったため、団体戦を3ペアで戦うことができませんでした。しかし4月になり1年生が女子7人、男子2人の入部により、とても活気のあふれる部活動となりました。団体戦の結果は、安来高校に0-3で敗退という結果でしたが、最後まであきらめない姿勢と力強い応援をする生徒たちを見ることができました。新体制になっても部員のメンバーに変わりはありませんが、日頃から支えてくださる保護者の方、地域の方への感謝の気持ちを忘れないようにまた指導をしていこうと思います。応援ありがとうございました。（小笹）

男子バレーボール部 主将：河野 力也

私たちは5月26日に浜山体育館で行われた県総体に参加しました。シードで2日目からの参加となり、2回戦目の江津・大田高校には1セット目は先取しましたが、2セット目は序盤に自分たちのミスもあってセットを落としてしまいました。3セット目は気持ちを切り替えてセットを取ることができ、2-1で勝利しました。3回戦の松江市西高校は、どちらのセットも序盤は取って取られてと1点差でついていくことができていましたが、徐々に点差を広げられ最終的には0-2で敗れてしまいました。しかしとても楽しかったし、今まで目標にしてきたベスト8に2大会連続で入ることができました。これは自分たちの力だけではなく、バレーを教えてくれた先輩や一生懸命指導して下さった今までの顧問の先生方、そして何があっても応援し支えてくれた家族、その他多数の関係者の方々のおかげなので、本当に感謝しています。そして個人的には、今まで一緒にバレーをしたチームメイト、人数が足りない中入部してくれた2年生、一人入ってくれた1年生、そして2年間一生にバレーをした3年生に何より感謝しています。楽しいことばかりではありませんでしたが、このメンバーでベスト8になれたことは本当に良かったです。応援ありがとうございました。新チームになってもベスト8を維持できるように頑張ってもらいたいのので、今後とも応援よろしく願います。



【顧問コメント】1回戦、江津高校と大田高校の合同チームとの対戦では、リズムをつかみ1セットを取ることができましたが、続く2セット目では、リズムをつかむことができず、奪われてしまいました。勝負の3セット目は初めから強気の攻めで、結果セットカウント2-1で勝利できました。2回戦ではベスト4をかけ松江西高校と対戦しました。序盤、攻めのサーブやブロックアウトを決めることができましたが、相手の高さや選手層の厚さに圧倒され、セットカウント0-2で敗退しました。試合中、苦しい場面でも一生懸命頑張る選手の姿を見て、胸が熱くなるとともに3年間一生懸命頑張ってきたのだとひしひしと感じました。この経験を今後に生かし、選手が各々成長できるよう支援していきたいです。当日はたくさんのご声援、大変ありがとうございました。（宮川）

女子バレーボール部 主将：榎木紀子

私たち女子バレーボール部は5月25日に大社高校で行われた県総体で、1回戦、出雲西高校と対戦しました。公式戦の緊張感がある中で序盤からサーブで攻めることができ、自分たちのリズムでプレーを進めることができました。2回戦、大社高校と対戦しました。相手のペースに押され自分たちの力を十分に出し切れないまま試合が終わってしまいました。3年間を振り返るとつらいことや悔しいことはたくさんありましたが、多くの方々の支えがあり3年間頑張ることができました。これからはさらに人数が少なくなりますが、キャプテンを中心に日頃の練習から全力で取り組んでほしいと思います。今までたくさんのお支えをありがとうございました。

【顧問コメント】1回戦、出雲西高校との対戦では、序盤からサーブで攻め優位に試合を進めることができ、1セット目を奪いました。2セット目、相手のライトからの攻撃に苦しめられましたが、中盤以降引き離しセットカウント2-0で勝利しました。苦しい場面でも集中力を切らさず、粘り強く戦えたことが勝利につながったように思います。2回戦、第1シードの大社高校と対戦しました。相手のサーブとスパイクの勢いに押され、思うように攻撃を決めることができず、セットカウント0-2で敗退しました。ベスト8に入ることができず悔しい思いはありますが、選手はよく頑張ってくれたと思います。この大会での経験を忘れず、常に高い意識を持って練習に励んでいきたいです。大会には多くの方々に応援にかけつけていただき、大変ありがとうございました。（上野城）

サッカー部 主将：村上竜一郎

僕たちサッカー部は、5月26日に出雲農林高校と、27日に松江南高校と対戦しました。今年は初めて真田グラウンドで総体が開催されました。1回戦の出雲農林戦では、お互い拮抗し合い前半1点ビハインドの中、前半終了間際に得点して同点となり、後半になり逆転することができました。その後相手の猛攻をしのぎ3-1で勝ちました。2回戦の松江南高校戦では序盤から相手のスピードとパワーに圧倒され、個々の局面のバトルに負け、劣勢を強いられる形となりました。チーム皆で声を出し続け、最後まであきらめず全力を出し切りましたが、結果は0-3で敗戦となりました。この試合は完全な力負けという形でした。この2試合で収穫もありましたが、課題がたくさん見つかったので、リーグ戦と選手権に向けて日々努力していきたいです。個人としてもチームとしてもレベルアップしていければと思います。また2日間運営に携わっていただいた保護者の方、地域の方々、そして応援して下さった方に感謝いたします。これからもたくさんの方々のお支えがあってこそ部活動ができるので、日々感謝の気持ちを忘れず努力していきます。たくさんのご声援ありがとうございました。

【顧問コメント】本年度の島根県高校総体サッカー競技は浜田市・益田市・吉賀町の6会場で第1ラウンドが開催されました。吉賀町で総体サッカー競技が開催されるのは初めてで、多くの方々のお力を借り、大会を盛り上げていただきました。真田地区の皆様には、会場に無料ドリンクブースを設置していただき、応援に来たサポーターから喜んでいただきました。さらに町内のホテルや旅館にも、たくさんの選手が宿泊し、大会を支えていただきました。この場をお借りし、吉賀町の皆様に御礼申し上げます。試合の方は、5月26日（土）～27日（日）の2日間、よしかみらいグラウンドで1回戦・2回戦を戦いました。1回戦は出雲農林と対戦しました。序盤は緊張し、なかなかリズムがつかめず苦戦しましたが、3-1の逆転勝利を収めました。昨年2月以来の公式戦勝利となりました。2回戦は松江南高校が対戦相手となりました。技術面・スピード面で上回る相手に粘り強く戦いましたが0-3で敗戦しました。集中力が切れた瞬間のミスからの失点でしたので大変悔いが残る試合となりました。夏場の鍛錬で高めていきたいです。（高橋）

